

第4回 キャリアセミナー レポート

作成者 市川 諒

講演内容

今回のイベントでは、三菱UFJ銀行(以下MUFG)のHead of Japanese corporate banking (VIC,SA,TAS)である岡本さんと4名の社員の方々をスピーカーとしてお招きしました。講演内容は以下の3つに焦点を当てています。

①MUFGの企業説明

MUFGのビジョンやミッションについて紹介し、同行がどのような価値観と目標を掲げているのか。

企業の歴史や実績に触れながらMUFGの強みや特徴を理解した。

②オーストラリアでのキャリアについて

MUFGの社員の方々のオーストラリアでのキャリアに焦点を当て、MUFGがどのようにビジネスを展開しているかをリアルな経験をもとに話していただいた。

③座談会

最後に座談会を設け、学生と社員の方々が直接対話できる機会となった。質問や意見交換を通じて、より深い理解を促進した。参加学生にとって銀行という業態がより身近なものになったはずだ。

要約・感想

MUFGは日本一のメガバンクとして知らない人はいない大企業だが、その影響力は日本国内だけでなく海外にも広がっている。東京銀行をルーツに持つMUFGは以前から海外進出に積極的であり、アメリカ、イギリスなど、世界中に多くの支店を展開してきた。そしてオーストラリアの金融ライセンス解放に伴い、オーストラリアでの事業を本格的に始動した。

オーストラリアではリテールバンキングは行っていないものの、コーポレートバンキングにおいて大きな存在感を示している。MUFGが現地4大銀行と拮抗しているという事実は驚きであり、また日本企業の海外進出を誇らしく感じた。コーポレートバンキングは学生には馴染みの薄い領域だが、丁寧に解説していただき銀行業務に対する理解が一層深まった。

さらに、MUFGの近年の進展を語る上で欠かせないのはアジアでの銀行の買収だ。タイ、インドネシア、フィリピンなどの銀行を買収し、アジアでの地位を着実に確立している。岡本さんは「日本と地理的に近いアジアで業務を広げることが日本の銀行にとって重要な戦略になる」と述べられ、近年の東南アジアの急速な発展が日本の銀行業にも大きな影響を与えていると感じた。

MUFGの企業説明の後、社員さんのそれぞれの経歴を聞く機会があった。岡本さんだけでなく、現地で永住権を取得した方、駐在員で来られた方、オーストラリア人の新卒採用(graduate)の方がそれぞれのキャリア、働き方について話してくださった。異なる採用方法で入社した方々の話を同時に聞くことは学生のキャリア形成の参考になっただろう。

その中で全ての方が言及したのがワークライフバランスだ。この言葉は日本でもよく取り上げられるが、オーストラリアではより重要視されているように感じた。結婚、子育てなどを考え、結果的にオーストラリアと選んだという意見もあり、日本の育休問題などの社会問題に対する解決への糸口も見つかるのではないかと思った。一方でそのワークライフバランスを支えているのが社員のハードワークであるという話も興味深かった。定時帰宅が一般的とされるオーストラリアでのビジネスは社員さんのハードワーク具合は容易に想像できる。私自身、大学で様々な学生と話す、キャリアや仕事に対する熱量、思いは幼少期から抱いているように思える。

また、駐在員の方の「オーストラリアと日本で働くことに大きな違いは感じられなかった」という言葉は、国内外にとらわれずグローバルな視点で世の中の流れを追う、というMUFGならではの感想だった。オーストラリア人の新卒採用の方には現地採用を目指す日本人学生から多くの質問が集まり、会社ごとの選考方法の違いやレジメの書き方などについて話してくださった。

最後に今回のイベントへの参加を快諾、準備してくださった岡本様、そして座談会などに参加してくださった社員の皆様に厚く御礼申し上げます。銀行業務、海外でのキャリアについて学生たちが深く学べる貴重な機会となりました。

また、メルボルン日本商工会議所の根本様にもイベントの様子を視察していただきました。お忙しい中、我々のイベントの運営にご協力いただきありがとうございます。今後もより良いイベントを企画し、学生と企業の架け橋となるよう尽力してまいります。

グローバルキャリアパスメルボルン
市川